

1 単元について

- 生徒の実態
  - 中学部2年生の生徒30名である。
  - これまで総合的な学習の時間では、「オリンピック・パラリンピックについて」、「世界の料理について」、「アジアの国（マレーシア、韓国）について」を授業で取り上げてきている。どの単元も体験的に学ぶことを通して外国語に関する興味・関心は高い生徒が多い。

- 単元設定の理由
  - 公益社団法人青年海外協会の（JOCA）が実施している出前授業「地球生活体験学習」の講師をお招きし、青年海外協力隊の活動や赴任国について紹介をもらったり、世界の国々を知るためのカードゲームの活動や民族衣装を着る活動に取り組んだりすることで、外国に興味関心をもち、国際感覚を養うために本単元を設定した。

■単元で扱った学習活動

学習活動

h	会話を使った活動など
i	・ロールプレイ(挨拶、自己紹介、買い物、食事、道案内、旅行など)
e	・ゲーム性の高い活動
	語彙の学習(教材の活用)など
	・ICT教材(動画など)

- 目標
  - 外国の文化や外国語に触れることを通して、外国に興味・関心をもつ。
  - 世界の国々の学習を通して、豊かな国際感覚を養う。
  - 外国語の挨拶や外国の子供たちとのやり取りが伝わる体験を通して、豊かな国際感覚を養う。

■指導計画

時間	学習内容・学習活動
1～6	世界の学習 ・オリンピック・パラリンピックについて ・世界の料理について ・アジアの国について（マレーシア、韓国）
7～8 (本時)	世界の学習 ・挨拶しよう、交流しよう

2 本時について

■本時の流れ（外部講師によるケニアの学習）

時間(分)	主な学習活動	配慮点・留意事項等
導入(5)	・はじめの挨拶 ・講師の紹介	・講師に注目させる。
展開(40)	・青年海外協力隊 OG の講師による体験談：青年海外協力隊について ケニアの場所 スワヒリ語の挨拶 日本語と似ているスワヒリ語の単語紹介 ケニアでの隊員活動 ケニアの動物・文化・習慣等について ・ワークショップ： 世界の国々の産物と地図との絵合わせゲーム活動（産物と国の地図の2枚のカードを合わせ、正解だとカードの裏に1枚の国旗が完成するゲーム） ・衣装体験：ケニアの民族衣装を着る体験	・講師の話に合わせてスライドを流す。  ・既習のものが紹介された際は、まとめの時間に振り返りをする。  ・すぐにグループが作れるように教師が巡回する。
まとめ(5)	・本時のまとめ ・終わりの挨拶	・生徒からの感想を聞く。 ・既習のものを振り返る。

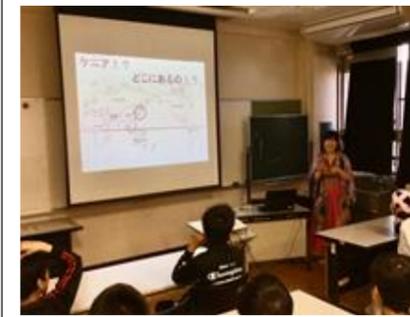
■本時の流れ（韓国の小学校とのオンラインによる交流）

時間(分)	主な学習活動	配慮点・留意事項等
導入(5)	・はじめの挨拶 ・交流する韓国の学校について紹介する。 ・タブレット端末のアプリ「nemo 韓国語」で韓国語の挨拶を練習する	・生徒同士でも挨拶をする。
展開(40)	・韓国の小学校6年生とオンライン交流を行う。 ・「韓国の文字」「韓国の衣装」「韓国のお金」「韓国の料理」について、韓国語・英語・日本語でプレゼンで紹介する。（韓国の小学校の児童から） ・移動教室の様子を撮影した動画に韓国語でいくつか説明のスライドを入れた映像を紹介する。（本校生徒） ・音楽の授業で取り組んでいる「上を向いて歩こう」の歌を披露する。（本校生徒） ・質問の時間 ・挨拶	・生徒には、オンラインでの交流のため、画像や音声等が途切れることもあると事前に説明する。  ・本校生徒から韓国への質問の際は、教師が英語やり取りし伝える。 「好きな食べ物は何かですか？」 「どんな授業が好きですか？」などの質問を韓国の小学生に行う。 ・韓国語で「アンニョンハセヨ」「カムサムニダ」などの挨拶を声を合わせて行う。
まとめ(5)	・本時のまとめ ・終わりの挨拶	・生徒からの感想を聞き、よかったことを取り上げてほめる。

■活用した教材等

- パワーポイント等で絵や写真等の提示
- タブレット端末（アプリ活用）
- オンライン用のWiFi、PC等

「ケニアの学習」  
(外部講師を招聘した授業)



「韓国の小学校とのオンライン交流」  
(ZOOMを活用)



「世界の国々の産物と地図の絵合わせカードゲームの活動」



3 まとめ

■生徒の変容

- ケニアの文化やスワヒリ語に触れ、興味・関心をもち、ケニアの民族衣装を着てみたい！という意欲をもつ生徒が多かった。
- 実際に海外の子供たちと交流することで、言語や文化の違いを感じることができた。
- 練習した韓国語が伝わったときはとてもうれしそうであった。練習した外国語が相手に伝わった、という実感をもつことができていた。